

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程C） 生活科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小6年1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)活動や体験の過程において、身近な教師の関わり、天気、季節の特徴に気付き、注意を向けることができる。(小1段階) (思判表力)身近な教師の関わり及び天気、季節の特徴に気付き、感じたことを表情や体の動きで伝えようとする。(小1段階) (学・人)身近な教師や天気、季節の特徴に関心をもち、自分から関わろうとする。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
通年	140	「日課にそって学習しよう」	(知及技) 毎日の簡単な日課について関心をもち、天気や簡単な身近処理、係分担に気付く。(1段階)基本的な生活習慣の日課予定 (思判表力) 簡単な日課について関心をもち、天気や簡単な身近処理、係分担について見通しを持つ。(1段階)基本的な生活習慣の日課予定 (学・人) 簡単な日課について関心をもち、天気や簡単な身近処理、係分担について見通しを持って楽しむ。(1段階)基本的な生活習慣の日課予定	○天気に関心をもち。 ○体温チェックをする。 ○口陰ケアをする。 ○洗顔をする。 ○朝の会で司会や発表の係をする。 ○係活動	(知・技) 毎日の簡単な日課について関心をもち、天気や簡単な身近処理、係分担に気付いている。 (思・判・表) 簡単な日課について関心をもち、天気や簡単な身近処理、係分担について見通しを持っている。 (主学) 簡単な日課について関心をもち、天気や簡単な身近処理、係分担について見通しを持ち、楽しんでいる。
1学期	10	「夏の自然と行事」 ○栽培体験「ゴーヤー・朝顔」 ○「夏を見つけよう」	(知及技) 身の回りの夏の植物に触れたり、教師と一緒に育てたりすることができる。(1段階)サ生命・自然 (思判表力) 身の周りにある夏の植物を育てたり触れたりして、成長や変化に気付く(1段階)サ生命・自然 (学・人) 身の周りにある夏の植物に関心をもち、触れようとする。(1段階)サ生命・自然	○ゴーヤー等の種や土に触れる。水かけをする。 ○校外学習で身の周りの自然に親しむ。 ○収穫したゴーヤーの感触や匂いをする。	「夏の自然と行事」 (知・技) 身の回りの夏の植物に関心をもち、触れたり教師と一緒に育てたりしている。 (思・判・表) 身の周りにある夏の植物を育てて、成長や変化の気付きを表情等で表現している。 (主学) 身の周りにある夏の植物に関心をもち、触れようとしている。
	10	「夏の遊びを楽しもう」 ○シャボン玉・泡遊び ○水鉄砲遊び ○風遊び	(知及技) 身の回りの遊びに気づき、教師の働き掛け入れ、体を動かして遊ぶ。(1段階)工遊び (思判表力) 身の周りの遊びや遊び方に関心をもち。(1段階)工遊び (学・人) 身の周りの遊びに関心をもち、楽しむ。(1段階)工遊び	○シャボン玉やハンドソープの泡に触れて遊ぶ ○水鉄砲などのおもちゃで遊ぶ。	(知・技) 身の回りの遊びの気付き、体を動かして遊んでいる。 (思・判・表) 身の周りの遊びや遊び方に関心をもち、持っている。 (主学) 身の周りの遊びに関心をもち、楽しんでいる。
2学期	20	「秋の自然と行事」 ○栽培体験「じゃがいも・コスモス」 ○校外学習「秋を見つけよう」	「秋の自然と行事」 (知及技) 身の回りの秋の植物に触れたり、教師と一緒に育てたりすることができる。(1段階)サ生命・自然 (思判表力) 身の周りにある秋の植物を育てたり触れたりして成長や変化に気付く(1段階)サ生命・自然 (学・人) 身の周りにある秋の植物に関心をもち、触れようとする。(1段階)サ生命・自然	○ジャガイモやコスモス等の種や土に触れる。水をかける。 ○校外学習で身の周りの自然に親しむ。	「秋の自然と行事」 (知・技) 身の回りの秋の植物に関心をもち、触れたり教師と一緒に育てている。 (思・判・表) 身の周りにある秋の植物を育てて成長や変化の気付きを表情等で表現している。 (主学) 身の周りにある秋の植物に関心をもち、触れようとしている。
	10	「秋の遊び」 ○土や砂や粉に触れよう	(知及技) 身の回りの遊びに気づき、教師の働き掛け入れ、体を動かして遊ぶ。(1段階)工遊び (思判表力) 身の周りの遊びや遊び方に関心をもち。(1段階)工遊び (学・人) 身の周りの遊びに関心をもち、楽しむ。(1段階)工遊び	○土や砂の感触を確かめる ○水と土を混ぜて遊ぶ ○粉を体につけて遊ぶ	(知・技) 身の回りの遊びの気付き、体を動かして遊んでいる。 (思・判・表) 身の周りの遊びや遊び方に関心をもち、持っている。 (主学) 身の周りの遊びに関心をもち、楽しんでいる。

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
3 学期	10	「冬と春の自然と行事」 ○校外学習「春を見つけよう」 ○お正月の食べ物	(知及技)身の回りの冬や春の植物に関心を持つ(1段階サ生命・自然) (思判表力)身の周りにある冬や春の植物を育てたり触れたりして成長や変化に気付く(1段階サ生命・自然) (学・人)身の周りにある冬や春の植物に関心を持って触れようとする。(1段階サ生命・自然)	○校外学習で身の周りの自然に親しむ。 ○みかんの皮をむく、匂いをする ○小豆を触る。 ○じゃがいもを触る。匂いをする。	(知・技)身の回りの冬や春の自然と行事に関心を持ち、触れたりしている。 (思・判・表)身の周りにある冬や秋の植物を育てて成長や変化の気付きを表情等で表現している。 (主学)身の周りにある冬や春の植物に関心を持って繰り返し触れようとしている。
	10	「冬の遊び」 ○節分「豆まき」	(知及技)身の回りの遊びに気づき、教師の働き掛け入れ、体を動かして遊ぶ。(1段階工遊び) (思判表力)身の周りの遊びや遊び方に関心をもつ。(1段階工遊び) (学・人)身の周りの遊びに関心もち、楽しむ。(1段階工遊び)	○補助具を使って豆まきをする。	(知・技)身の回りの遊び気付き、体を動かして遊んでいる。 (思・判・表)身の周りの遊びや遊び方に関心を持っている。 (主学)身の周りの遊びに関心もち、楽しんでいる。
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部 6 年 ( II 課程C類型 ) 国語科 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材
70	6 学年 1 名		絵本 パネルシアター 動画 (適宜)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり、表情・身振り・発声等で応答するとともに、言葉などの我が国の言語文化に触れることができるようにする。(小1段階) (思・判・表) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。(小1段階) (学・人) 言葉がもつよさや表情・身振り・発声等で気持ちを表すよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、表情・身振り・発声や言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
年間を通して扱う	23	「身近な人からの言葉かけに気づき、注目したり、できる方法で応答しよう」「名前を呼ばれたら、返事をしよう」 (小1A-I)	(知及技) 身近な人からの言葉かけに注意を向けることができる。 (思判表力) 自分の名前に親しみをもち表情等で応じようとする。 (学・人) 身近な人からの言葉かけに気づきようとしている。	・みんなの話を聞こう ・聞いてみよう動いてみよう	(知・技) 身近な人からの言葉かけに対して注意を向けようとしている。 (思・判・表) 身近な人からの言葉かけに対して表情、身振り、視線等で気づきようとしている。 (主学) 覚醒した状態で教師の言葉かけに気づきようとしている。
	18	「絵本を楽しもう」 (小1A-(イ))	(知及技) 教師の読み聞かせに対して、視線を向けたりして、いろいろな絵本に興味をもつことができる。 (思判表力) 読み聞かせに対して、表情を変えたりして言葉を受け止めようとする。 (学・人) 読み聞かせを聞いたとき、言葉を受け止めようとしている。	・絵本を読もう ・パネルシアターを楽しもう	(知・技) 読み聞かせを聞き、言葉の持つ音やリズムに触れたり、絵本に出てくる具体物やイメージに触れたりすることができる。 (思・判・表) 読み聞かせに応じて、表情、身振り、発声等で自分の気持ちを表現することができる。 (主学) 読み聞かせを聞き、表情、身振り、発声等で気づきようとしている。
1 学期	10	「言葉と合図」 (小1A-I)	(知及技) 身近な人からの言葉かけに注目することができる。 (思判表力) 身近な人からの言葉かけに応じることができる。 (学・人) 身近な人からの言葉かけに気づきようとする意欲を持つことができる。	・聞いてみよう動いてみよう	(知・技) 身近な人からの言葉かけに対して注目しようとする。 (思・判・表) 身近な人からの言葉かけに対して表情、身振り、発声等で自分の気持ちを表現することができる。 (主学) 身近な人からの言葉かけに対して表情、身振り、発声等で気づきようとする態度が見られる。
2 学期	9	「物語を楽しもう」 (小1イ-(ア))	(知及技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞き、視線を向けたりして、いろいろな絵本に興味をもつことができる。 (思判表力) 物語の世界に触れることで、自分なり気持ちをもつことができる。 (学・人) 物語を楽しもうとする意欲を持つことができる。	・いろいろな物語を楽しもう ・パネルシアターを楽しもう	(知・技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞き、言葉の持つ音やリズムに触れたり、絵本に出てくる具体物やイメージに触れたりすることができる。 (思・判・表) 物語の世界に触れ、自分なりの気持ちを表現しようとしている。 (主学) 覚醒した状態で活動に参加し、もっと物語を楽しみたいという意欲が見られる。
	4	「季節の言葉」 (小1イ-(ウ)ア)	(知及技) 季節に合わせたメッセージについて知ることができる。 (思判表力) 自分の気持ちを、筆記やシールを貼るなど、自分なりの方法で表現することができる。 (学・人) 表現したメッセージを、年賀状として仕上げるができる。	・年賀状を書こう	(知・技) 教師の言葉かけを聞き、表情を変えたり視線を向けたりできる。 (思・判・表) 教師の言葉かけを聞き、身体や目で気づきようとしている。 (主学) 覚醒した状態で活動に参加し、年賀状を仕上げることができる。
3 学期	6	「季節の言葉」 (小1イ-(イ))	(知及技) お正月や節分、ひな祭りなど、我が国の文化について親しむことができる。 (思判表力) 文化にちなんだ絵本を読むこと等して、喜び等の感情を表現することができる。 (学・人) 我が国の文化に親しもうとしている。	・我が国の文化に親しもう	(知及技) 我が国の文化にちなんだ言葉聞くことができる。 (思判表力) 文化にちなんだ絵本を読んだり行事を体験したとき、視線を向けたり表情を変えたりして言葉を受け止めようとしている。 (学・人) 文化にちなんだ体験をしたとき、発声や身体を動かしたりして気づく等、もっと学びたいという意欲が見られる。
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部 6 年（Ⅱ課程 C 類型） 算数科 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小6年1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小1段階) (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小1段階) (学・人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 学期	5	「好きなもの ある・ない」	(知及技)具体物に気付けて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 (思判表力)対象物に注意を向け、対象物の存在に注目しようとしている。 (学・人)先生の言葉に合わせて、発声しようとしている。	「好きなもの ある・ない」 「どこにある、かくれてる」 ○対象物が隠れていくときに、対象物への関心を継続するためにも隠すものについては、好きなものや関心の高いものから始める。 ○隠す側の役割体験もできるように、教師が探すという「かくれんぼ」的な体験も取り入れる。 ○トンネルゲームなど隠れたものがどこから出るのか右から左への視線誘導など行う。追試が難しい場合は、直接触れながら動かす。	(知・技)興味のある具体物に気付き、教師の言葉かけ等に合わせ、手を動かしたり、じっと見たり、目で追ったり、変化に注意を向ける。  (思・判・表)興味のある対象物に注意を向け、もの有无、自分のマーク等に気付き、目で追ったり、表情、身振り、発声で応じたりする。
	6	「どこにある、かくれてる」 「自分マーク、友達マーク」	(知及技)目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりする。 (思判表力)具体物に気付けて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 (学・人)先生の言葉に対して、発声しようとしている。	「自分のマーク、友達のマーク」 ○形または色いかに刺激をできるだけ少なくする。 ○具体物と簡単にわかりやすい絵を用いる。 ○見本を基に比べて、同じもの選択するやり方とする。	(主学)興味のある具体物に対して、変化に気づき、目で追ったり、表情、身振り、発声で応じようとする。
2 学期	7	「大きい、小さいを感じよう」	(知及技)具体物に気付けて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 (思判表力)対象物に注意を向け、対象物の存在に注目しようとしている。 (学・人)先生の言葉に合わせて、発声しようとしている。	「大きい、小さいを感じよう」 ○測定に係る大きさの属性を体感的に理解していく。 ○大きさの異なる2種類の具体物を基準に視覚だけでなく、体全体を使って触れながら学習を積み重ねる。 「おなじ、ちがう」 ○「同じ」「違う」という判断がわかりにくい場合は、教師側がわざと間違えて理解度を確認することが必要。 ○理解して選択(表情で選択)しているかあいまいな場合は、教師の表情や声の大きさで判断している場合があるため、できた時に淡々と即時評価を積み重ねる。 「比べよう」 ○生活の中にあつて、視覚的にも触覚的にも実感できるような、玉入れゲームなど視覚的、聴覚的に興味関心が高まる教材を活用する	(知・技)興味のある2つの具体物に気付き、比較することをじっと見たり、目で追ったり、変化に注意を向ける。  (思・判・表)興味のある2つの対象物に注意を向け、もの有无や比較することの基礎となる要素に気付き、目で追ったり、表情、身振り、発声で応じたりする。
	8	「おなじ、ちがう」 「比べよう」	(知及技)もの有无に気付けて指を指したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 (思判表力)大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うか区別しようとしている。 (学・人)先生の言葉に合わせて、発声しようとしている。		(主学)対象の変化や興味のある具体物に対して、気づき、変化を感じ、目で追ったり、表情、身振り、発声で応じようとする。
3 学期	5	「比べて、感じよう」	(知及技)ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現しようとしている。 (思判表力)対象物に注意を向け、対象物の存在に注目しようとしている。 (学・人)先生の言葉に合わせて、発声しようとしている。	「好きなものはどこにある」 ○身近なものから、新しいものへ興味関心を広げていく。その対象物を捉え、「ある」「ない」の気づきを表情や目線で表す。 「くらべる」 ○「ある」「ない」「大きい」「小さい」などの既習事項をおさえて、表情や目線で表す。 ○基本的に二つの大きさ、量、多い、少ないの区別を行う。 ○これまで、見慣れた具体物から新しい具体物を取り入れながら比較することの基礎となる学習とする。	(知・技)興味のある具体物に気付き、教師の言葉かけ等に合わせ、手を動かしたり、じっと見たり、目で追ったり、変化に注意を向ける。  (思・判・表)興味のある対象物に注意を向け、もの有无や比較することの基礎となる要素に気付き、目で追ったり、表情、身振り、発声で応じたりする。
	4	「好きなものはどこにある」	(知及技)具体物に気付けて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりしている。 (思判表力)対象物に注意を向け、対象物の存在に注目しようとしている。 (学・人)先生の言葉に合わせて、発声しようとしている。		(主学)外界の変化や興味のある具体物に対して、変化を感じ、目で追ったり、表情、身振り、発声で応じようとする。
留意点 引継ぎ等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少しの動きで、音が出たりする教材は、効果的であり、具体物を増やしていくことが必要。</li> <li>・ 好きな活動を止めることで「つづけて」の合図等を引き出していくことは、常に必要。</li> <li>・ 数量の基礎では、「大きい」など、体全体を使うことは、有効で、言葉も精選して、教師が活用していくことが大切。</li> <li>・ 「つづけて」の合図等を引き出していくことは他の授業でも連動して進める。</li> <li>・ 好きなものを活用しての数量の比較から、日常的に活用しているものへの連動も今後視野に入れる。</li> <li>・ 担当教諭が替わっても同様の反応ができるよう進めていく。</li> </ul>			

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程Cグループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小6年1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)音や音楽に注意を向けて気付き、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽作りにつながる技能を身に付ける。(小1段階) (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に関心や興味をもって聴くことができる。(小1段階) (学・人)教師と一緒に音楽活動する楽しさを感じることができる。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
年間を通して扱う		「身近な音・音楽に気づこう、親しもう」 「季節・行事の歌に親しもう」 「わらべ歌、手遊び歌に親しもう」	・音や音楽に気付き、自分なりに表そうとする。(知及技) ・音楽表現を楽しみ、音や音楽に興味関心をもつ。(思判表力) ・音楽活動を教師と一緒に楽しむ。(学・人)	・授業開始の音や合図の音に気付く。 ・季節や行事の歌を聴き、音楽あそびや表現活動を通して曲に親しむ。 ・手遊び歌、わらべ歌による教師との関わりで気付き、音楽に親しみながら自分なりの表現をする。一本橋～「だるまさん」他	・音や音楽に気付き、自分なりに表そうとしている。(知・技) ・音楽表現を楽しみ、音や音楽に興味関心をもっている。(思・判・表) ・音楽活動を教師と一緒に楽しんでいる。(主学)
1学期	10	「音楽に合わせてあいさつしよう」 「音楽で仲良くなろう」	・音や音楽に気付き、自分なりに表そうとする。(知及技) ・音楽表現を楽しみ、音や音楽に興味関心をもつ。(思判表力) ・音楽活動を教師と一緒に楽しむ。(学・人)	・音楽活動を通し、自分の番で音楽表現を行う。「始まりの歌」「名前歌」等 ・聞こえてくる音に気付く。また音の違いや変化に気付く。「どこかで春が」「花」「こいのぼり」 ・ふれあいソングを通して、教師とのスキンシップに快の表現等ができる。「おはよう」「希望の樹ソング」他	・音や音楽を聴いて、楽しいと感じたときの自分なりの表現をしている。(知・技) ・表現する音や音楽に気付いている。(思・判・表)
	10	「いろいろな音を聴いて表現しよう～雨の音、平和の音楽～」	・身近な人の演奏に触れ好きな音色や楽器の音を見付ける。(知識) ・演奏を見たり、体の動きで表現しながら聴く(思判表) ・進んで音や音楽に関わる(学・人)	・雨音や雨音を連想させる楽器の音色に耳を傾ける。楽器に触れ、その振動や音を感じとる。 「雨の音を鳴らしてみよう」「あめふりすいぞくかん」 「にじ」「かえるの合唱」「月桃」「一緒にならそうよ」他	・好きな音色や楽器の音を見付け、自分なりに表そうとしている。(知・技) ・演奏を見たり、体の動きで表現しながら聴いている。(思・判・表) ・音楽活動を教師と一緒に楽しんでいる。(主学)
	5	「夏の歌で表現しよう」	・音や音楽を感じて声や楽器の音を出す技能を身に付ける。(知及技) ・音や音楽を聞いて、自分なりに表そうとする。(思判表力) ・進んで音や音楽に関わる(学・人)	・大型スクリーンを活用し、火花や海の映像に注目したり布遊びをしたりする。音の「違い」に興味・関心をもって気付く。 「はなび」「うみ」他	・音や音楽を感じて、声や楽器の音を出そうとしている。(知・技) ・音や音楽を聞いて、自分なりに表そうとしている。(思・判・表) ・音楽活動を教師と一緒に楽しんでいる。(主学)
2学期	10	「沖縄の音楽を聴こう、触れよう、感じよう」	・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする。(知及技) ・表現する音や音楽に気付く。(思判表)	・沖縄の楽器や方言に触れながら、手遊びや音色を楽しむ。「赤田首里殿内」「エイサー」「じんじん」他 ・沖縄の伝統芸能「組踊り」の抜粋を鑑賞する。「組踊」に親しもう	・音や音楽を聴いて、楽しいと感じたときの自分なりの表現をしている。(知・技) ・表現する音や音楽に気付いている。(思・判・表)
	10	「世界の音楽を聴こう、触れよう、感じよう」	・音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付ける。(知及技) ・聴こえてくる音や音楽に気付く。(思判表) ・進んで音や音楽に関わる。(学・人)	・日本語、イタリア語、英語等、様々な発音や音の響きの違いや曲調を楽しむ。「サンタルチア」「村まつり」「パフ」	・音や音楽を感じて体を動かそうとしている。(知・技) ・聴こえてくる音や音楽に気付いている。(思・判・表) ・進んで音や音楽に関わろうとしている。(主学)
	5	「秋の音楽を楽しもう」 「みんなが主役、クリスマス音楽会」	・音や音楽を感じて体を動かす技能を身に付ける。(知及技) ・聴こえてくる音や音楽に気付く。(思判表) ・進んで音や音楽に関わる。(学・人)	・手で表現してみよう。自然の音、虫の鳴き声、楽器の音に耳をすませよう。「やきいもぐーちーばー」「虫のこえ」「もみじ」「赤とんぼ」「クリスマスソング」「鈴の曲」	・音や音楽を感じて体を動かそうとしている。(知・技) ・聴こえてくる音や音楽に気付いている。(思・判・表) ・進んで音や音楽に関わろうとしている。(主学)
3学期	10	「お正月、冬の音楽」	・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする。(知及技) ・表現する音や音楽に気付く。(思判表)	・新春を音楽で感じよう。新しい気持ちで音楽しよう。「春の海」、「もちつき」、「十二支の歌」	・音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを表現している。(知・技) ・表現する音や音楽に気付いている。(思・判・表)
	10	「1年間の音楽～振り返り」「卒業式の歌」	・音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとする。(知及技) ・表現する音や音楽に気付く。(思判表)	・1年間の音楽を振り返り、思い出の曲や、好きだと感じる曲で表現しよう。 ・卒業式への意識を高めよう。「卒業のうた」	・音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。(知・技) ・表現する音や音楽に気付いている。(思・判・表)
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年(Ⅱ課程C) 図画工作 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	6学年 1名		・絵本・スライド ・歌・絵画や創作物見本 等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身の回りの形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。(小1段階ア) (思判表力)身の回りの自然物や素材に触れて感触の違いに気づき、表情や体の動きで表現できる。(小1段階イ) (学・人)自分から進んで身の回りの自然物や様々な素材に進んで触れようすることができる。(小1段階ウ)			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 学期	24	「どんな色が好き」	(知及技) いろいろな材料・道具に触れて、感触や色を感じ取る。色や道具を選ぶ。 (思判表力) 手や指、色を選択したり、色紙をちぎったり貼ったりする。表したいことを考え、発想や構想する。 (学・人) 制作活動を通して、目を開いたり、指や腕を動かす、視線を向けるなど、興味関心を示し進んで活動に取り組む。	【描く活動】【鑑賞】 ・絵本、歌「どんな色が好き？」 ・描く、塗る、貼る ・モダンテクニック ・絵筆やスポンジ、ビー玉など、いろいろな道具を活用して描く ・流し込んだり、垂らしたり、にじませたりする  ◎児童の実態に応じ、ポジションングに気をつける。好きな音や振動、得意な動きを活かした補助具を使う。興味関心を活かした活動を取り入れながら作品作りを行う。 ◎言葉かけを常に取り入れ、期待や見通しを持たせる。言葉かけをしながら、作品に注目させる。	(知・技) 視線を向ける、目を開ける、瞬きをする、表情に変化がある、手や指が動く、頬や口元に動きがある、鼻をピクピクさせ、匂いを感じ取る、音や振動の変化など、感触や色、形に気がつく、意識を向けている。道具に触れたり支援を得て使う。また、色や道具を選ぶことができる。  (思・判・表) 身の回りの物やいろいろな材料に触れて、描いたり、塗ったり、垂らしたり、にじませたり、染めたり、ちぎったり、握ったり、貼ったり、こねたり、のぼしたり、丸めたり、潰したりする。表したいことを考えて制作ができる。
		「絞り染め」	(知及技) いろいろな材料・道具に触れて、感触や色を感じ取る。色や道具を選ぶ。 (思判表力) 布を握ったり、紐で絞ったり、布を染料で染めたりする。表したいことを考えて、発想や構想をする。 (学・人) 制作活動を通して、目を開いたり、指や腕を動かす、視線を向けるなど、興味関心を示す。進んで制作活動に取り組もうとする。	・布の感触を楽しみながら絞りを入れる ・染める ・できあがり鑑賞する  ◎児童の実態に応じ、ポジションングに気をつける。好きな音や振動、得意な動きを活かした補助具を使う。興味関心を活かした活動を取り入れながら作品作りを行う。 ◎言葉かけを常に取り入れ、期待や見通しを持たせる。言葉かけをしながら、作品に注目させる。	(主学) 制作活動を通して、目を開いたり、指や腕を動かす、視線を向けるなど、興味関心を示す。進んで制作活動に取り組もうとする。
		「スイッチ教材等を活用した描画制作」	(知及技) スイッチ機器を使って平面制作をする。 (思判表力) 教師と一緒に用具を使って作品作りに取り組む。 (学・人) 一連の活動を通して、目を開いたり、指や腕を動かす、視線を向けるなど、興味関心を示す。進んで制作活動に取り組もうとする。	・スイッチ教材を活用した描画制作を行う。 ・電動玩具に取り付けたペンや筆にて線描を重ねる。  ◎生徒の実態に応じ、ポジションングに気をつける。好きな音や振動、得意な動きを活かした補助具を使う。興味関心を活かした活動を取り入れながら作品作りを行う。 ◎言葉かけを常に取り入れ、期待や見通しを持たせる。言葉かけをしながら、作品に注目させる。	
2 学期	30	「いろんな色と感触」 ・スライム遊び ・粘土遊び	(知及技) いろいろな材料・道具に触れて、感触や色を感じ取る。 (思判表力) 手や指、足を使って、粘土に触れたり、こねたり、伸ばしたり、ちぎったり、丸めたり、潰したりする。表したいことを考えて制作する。 (学・人) 制作活動を通して、目を開いたり、指や腕を動かす、視線を向けるなど、興味関心を示す。進んで制作活動に取り組もうとする。	・粘土に触れて感触を楽しむ ・こねて色を混ぜる ・型抜きをする ・丸めたり、伸ばしたりする ・形を作る  ◎素材の温度や柔らかさなどの調整を行い受け入れやすい刺激を選んで触れさせる。 ◎刺激を入力しやすい体の部位を考えて最初は弱い刺激から始めるようにする。 ◎言葉かけをしながら、作品に注目させる。	(知・技) 視線を向ける、目を開ける、瞬きをする、表情に変化がある、手や指が動く、頬や口元に動きがある、鼻をピクピクさせ、匂いを感じ取る、音や振動の変化など、感触や色、形に気がつく、意識を向けている。道具に触れたり、支援を得て使う。また、色や道具を選ぶことができる。  (思・判・表) 柔らかい・硬い・サラサラ・ポコポコ・冷たい・暖かいなど感触を通して「快」「不快」等の表情に表すことができる。 (主学) 制作活動を通して、目を開いたり、指や腕を動かす、視線を向けるなど、興味関心を示す。進んで制作活動に取り組むことができる。
		「版画制作」	(知及技) いろいろな材料・道具に触れて、感触や色を感じ取る。色や道具を選ぶ。 (思判表力) いろいろな素材を貼ったり、版を彫るなどして、凹凸をつけたり、絵筆やローラーで絵の具を塗ったり、版を刷り取ったりする。 (学・人) 制作活動を通して、目を開いたり、指や腕を動かす、視線を向けるなど、興味関心を示す。	・いろいろな素材に触れる ・素材を貼り付ける ・版に色をのせる ・用紙に刷り取る  ◎生徒の実態に応じ、ポジションングに気をつける。 ◎言葉かけをしながら、作品に注目させる。	

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
3 学期	16	「iPadで描こう」	(知・技) iPadの描画機能を使って平面描画作成をする。 (思・判・表力) iPadに触れ、色や線、面が画面に描画する変化を感じとる。 (学・人) 一連の活動を通して、目を開いたり、指や腕を動かす、視線を向けるなど、興味関心を示す。進んで制作活動に取り組もうとする。	・iPadを活用して、描画制作をする ・気に入った素材を印刷する ・校内に展示し、鑑賞する  ◎児童の実態に応じ、ポジショニングに気をつける。 ◎言葉かけをしながら、作品に注目させる。	(知・技) 教師と一緒にiPadの画面にタッチができる。また、自らスイッチボタンに触れ電飾に何度も明かりを灯すことができる。 (思・判・表) 光画面等を見つめる。目線で追うことができる。教師の働きかけに視線や発声、表情、体の動き等で遊ぼう表出できる。 (主学) スwitchボタンに触れようとすることができる。教師の働きかけに視線や発声、表情、体の動き等で継続して活動に取り組もうとしている。
		「イルミネーション&スヌーズレン体験」	(知・技) スwitch教材に触れ電飾に明かりを灯す。 (思・判・表) 光や電飾を注視することができる。 (学・人) 自ら進んでスswitchボタンを押すことができる。	・スswitchを押すと楽しいことがあるという学習を繰り返す。 ・スswitchを押すと好きな音や音楽が流れる自発運動を促す。  ◎児童の実態に応じ、ポジショニングに気をつける。スswitch教材のボタンを押して様々な種類の電飾を体験させる。 ◎言葉かけをしながら、電飾の明かりや点滅に注意を向かせる。	
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部 6 年 (Ⅱ課程C類型) 体育科 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小6学年1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。(小1段階) (思判表力)体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。(小1段階) (学・人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 学期	5	G「保健」 年間を通して扱う	(知及技)教師と一緒に洗面や清拭など健康な生活に必要な事柄ができる。 (思判表力)健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えることができる。	○洗面、清拭 ○排泄 ○外気浴	(知・技)教師と一緒に洗面や清拭(各部位)を行う中で、力を抜いて協力して活動することができる。 (思・判・表)教師と一緒に活動を行う中で、快・不快を身振りや表情、発声で周りの人に伝えることができる。 (主学)教師の言葉かけを聞いたり、用具を見たりして、手や足、目線に向けて協力することができる。
		A「体づくり運動遊び」	(知及技)ふれあいを含む優しい運動を通して、心と体の関係に気付き、手足を伸ばしたり曲げたりして簡単な運動遊びができる。 (思判表力)教師と一緒に、体を動かすことの楽しさや心地よさを目的動きなどの表情や身体の動きで表現できる。 (学・人)「体づくり運動遊び」に取り組む中で、好きな活動を発見できる。	「体ほぐしの運動」 ○ふれあい体操 ○体の柔らかさを高める運動 「多様な動きを作る運動」 ○体を移動する運動 ○用具を操作する運動 ○バランスを高める運動	(知・技)ふれあい体操などを通して、触れられると心地よいという体と心の関係に気付き、リラックスできる。また、体を移動したり姿勢を変えたりすることで体の一部を動かしている。 (思・判・表)皮膚や関節への優しい刺激を受容し、感じた心地よさを表現している。 (主学)繰り返し活動に取り組む中で、徐々に好きな刺激や運動に気付いている。
2 学期	15	D「水遊び」	(知及技)教師と一緒に水の特性(浮力・水圧・水温・抵抗)を生かした遊びができる。 (思判表力)水の中の活動で受けた刺激に気付き、表現できる。 (学・人)水遊びに、自分なりの方法で取り組もうとすることができる。	「水の特性を生かした簡単な水遊び」 ○浮力を体験する ○水圧・抵抗を体験する ○水流に身を任せる ○おもちゃを使った遊び ○浮き具を使った背浮き	(知・技)水の特性を体験し、教師と一緒に遊びながら身体を動かしている。 (思・判・表)浮いたり、沈んだり、水温の違いを感じたりしながら、水遊びの楽しさや心地よさを感じて表情などの顔の動きや、身体の動きで表そうとしている。 (主学)体調を整えて、水遊びの授業に参加することができる。また、水遊びの活動に期待している。
		B「器械・器具を使った遊び」	(知及技)教師と一緒にマットやトランポリン、ブランコなどの色々な器械・器具を使った遊びで、体の一部を動かすことができる。 (思判表力)刺激を受容し、感じたことを顔さや表情などの顔の動きや身体の動きで表すことができる。 (学・人)教師のふれあいや言葉かけを受け、器械・器具を使った遊びに自分なりの方法で取り組もうとすることができる。	「揺れ遊び」 ○エアトランポリン ○ブランコ ○ドリフトチェア 「全身を使った遊び」 ○エアマット ○モーリフトを使用した遊び	(知・技)「揺れ遊び」や「全身を使った遊び」に教師と一緒に取り組む中で、体の一部(眉や口元等の表情も含む)を動かしている。 (思・判・表)揺れや振動などの刺激を、諸感覚を協応させて受け取り、可動できる部位を動かして表現しようとしている。 (主学)体調を整え、自分なりの方法で器械・器具を使った遊びの授業に参加している。
3 学期	5	E「ボール遊び」	(知及技)さまざまな大きさや感触のボールに触れ、体の一部を動かしてボールを動かすことができる。 (思判表力)ボールのゴムの感触や跳ねる音、弾む感じを体験し、楽しさや心地よさなどの感じたことを、表情の変化や体の一部を動かした表現できる。 (学・人)教師のふれあいや言葉かけを受け、ボールを触って遊ぶことに興味を持つことができる。	「簡単なボール遊び」 ○ボールに触れる ○ボールを掴む ○ボールを落とす ○ボールを見て手を伸ばす 「ボールを使ったゲーム」 ○ポッチャ ○ポウリング	(知・技)触りやすい大きさのボールや、好きな感触のボールなど興味を示したものを中心に、ボールに触れて転がしたり落としたりしている。 (思・判・表)ボールの特性(弾む・転がる・丸い)に触れ、諸感覚を協応させて、ボールに手を伸ばそうとしたり触れようとしている。 (主学)ボールに触れて遊ぶことに、期待を膨らますような様子が見られる。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程C） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童	担当者	教科書／副教材
35	小6年1名		

年間目標		人との関わりの中で、道徳的な価値に気付いたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。		
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容
年間を通して実施	3	「新しい先生、新しいクラスメート」	・身近な人の存在に気づき、親しみの気持ちを表すことができる。 ・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもつことができる。	【主として自分自身に関する事】 【主として人との関わりに関する事】 【主として集団や社会との関わりに関する事】 ○学校巡り ○視線・笑顔であいさつ ○自分のことについて話をしよう ○先生／友達の話进行聞き
	10	「清潔を保とう」	・日々の活動の中から、清潔になることの心地よさを感じることができる。	【主として自分自身に関する事】 【主として人との関わりに関する事】 【主として集団や社会との関わりに関する事】 ○先生と一緒にからだをきれいに保とう
	4	「先生・友達と遊ぼう」	・身近な人と関わることに心地よさを感じ、安心感をもって過ごすことができる。	【主として自分自身に関する事】 【主として人との関わりに関する事】 【主として集団や社会との関わりに関する事】 ○季節の遊びをしよう ○スキッシュ遊び
	4	「体を動かして遊ぼう」	・欲求が満たされ、安定感をもって過ごすことができる。 ・身体を動かしたり、声を出したりして、自分から働きかけようとする事ができる。	【主として自分自身に関する事】 【主として人との関わりに関する事】 【主として集団や社会との関わりに関する事】 ○好きなことをして遊ぼう ○シーツブランコ ○トランポリン
	4	「みんなありがとう」	・家族との関わりに喜びを感じることができる。	【主として人との関わりに関する事】 【主として集団や社会との関わりに関する事】 ○母の日 ○父の日 ○敬老の日 ○勤労感謝の日
	7	「すばらしいもの・美しいもの」	・さまざまなものを見たり聞いたり感じたりして心を動かすことができる。	【主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事】 ○身近な自然や植物・昆虫を観察しよう ○スヌーズレン
	3	「あいさつをしよう」	・明るいあいさつに心地よさを感じ、親しみを持って挨拶に応じようとする事ができる	【主として人との関わりに関する事】 【主として集団や社会との関わりに関する事】 ○視線・笑顔であいさつ ○さまざまなあいさつ
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部6年 (Ⅱ課程C類型) 外国語活動 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	児童	担当者	教科書/副教材
35	小6年1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)日本語と英語の音声やリズムの違いなどに気付き、英語の音声に慣れ親しむことができる。(小1段階) (思判表力)英語でのコミュニケーションに対し自分なりに気持ちを表現することができる。(小1段階) (学・人)英語でのコミュニケーションや外国の文化などに触れることを通して、英語への興味・関心を高めることができる。(小1段階)
------	---

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 学期	12	「英語の会話表現に慣れよう」	(知及技) 英語での語りかけや英語の歌、絵本の読み聞かせなどを聞き、英語独自の音声やリズムに慣れ親しむ。 (思判表力) 英語でのコミュニケーションに対して、表情や体の動きなどで自分の気持ちを表現する。 (学・人) 英語でのコミュニケーションを通して、英語への興味・関心を高める。	・ALTの自己紹介 ・英語でのあいさつ ・英語の音声聞いて自分の気持ちを表現しよう! ・身近なもの ○数字 ○体の部分 ○食べ物 ○色	(知・技) 英語での語りかけや英語の歌、絵本の読み聞かせなどを聞き、英語独自の音声やリズムに慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 英語でのコミュニケーションに対して、表情や体の動きなどで自分の気持ちを表現する。 (主学) 英語でのコミュニケーションを通して、英語への興味・関心を高めようとしている。
2 学期	8	「英語の歌や動きを楽しもう」	(知及技) 英語での語りかけや英語の歌、絵本の読み聞かせなどを聞き、英語独自の音声やリズムに慣れ親しむ。 (思判表力) 英語でのコミュニケーションに対して、表情や体の動きなどで自分の気持ちを表現する。 (学・人) 英語でのコミュニケーションを通して、英語への興味・関心を高める。	・ALTの夏休み思い出について聞いてみよう ・身近なものやできごと ○家族 ○動物 ○学校の行事	(知・技) 英語での語りかけや英語の歌、絵本の読み聞かせなどを聞き、英語独自の音声やリズムに慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 英語でのコミュニケーションに対して、表情や体の動きなどで自分の気持ちを表現する。 (主学) 英語でのコミュニケーションを通して、英語への興味・関心を高めようとしている。
	8	「外国の文化(ハロウィン、クリスマス)に触れよう」	(知及技) ハロウィンやクリスマスなど外国の文化に関する絵本や動画を見たり、聞くことができる。 (思判表力) 絵本や動画を見て、感じたことを表情や体の動きなどで表現することができる。 (学・人) 英語でのコミュニケーションを通し、英語への興味や関心を高める。	○英語でのあいさつ、語りかけ ○英語の歌、動き ☆Halloween's Songs ・「If I Were a Ghost」 ☆Christmas Songs ・「Jingle Bells」 ・「O Christmas Tree」 ・「We Wish You a Merry Christmas」など ○外国の文化「ハロウィン、クリスマスBingo」など ○クリスマスカード作成	(知・技) 英語での語りかけや英語の歌、絵本の読み聞かせなどを聞き、英語独自の音声やリズムに慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 英語でのコミュニケーションに対して、表情や体の動きなどで自分の気持ちを表現する。 (主学) 英語でのコミュニケーションを通して、英語への興味・関心を高めようとしている。
3 学期	7	「英語での働きかけに応じよう」	(知及技) 英語での語りかけや英語の歌、絵本の読み聞かせなどを聞き、英語独自の音声やリズムに慣れ親しむ。 (思判表力) 英語でのコミュニケーションに対して、表情や体の動きなどで自分の気持ちを表現する。 (学・人) 英語でのコミュニケーションを通して、英語への興味・関心を高める。	・新年のあいさつ ・福笑い ・干支 ・1、2学期のまとめ	(知・技) 英語での語りかけや英語の歌、絵本の読み聞かせなどを聞き、英語独自の音声やリズムに慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 英語でのコミュニケーションに対して、表情や体の動きなどで自分の気持ちを表現する。 (主学) 英語でのコミュニケーションを通して、英語への興味・関心を高めようとしている。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 6年（Ⅱ課程C） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	小6年1名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技)・学校のいろいろな行事に、教師と一緒に参加することができる。 (思・判・表)・友達の様子に関心を持ち、注目することができる。 (学・人)・友達と仲良く活動したり、よりよい人間関係を築こうとしたりすることができる。			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 学期	12	・学級開き	・どんな学級にしたいかを考え、目標を決める。	・新しい学級の担任・クラスメイトの紹介。 ・どんな学級にしたいかを教師と一緒に考える。	・新しいクラスメイト、教師に関心に向けている。 ・どんな学級にしたいか教師と一緒に考えている。
		・一学期頑張ろう会	・一学期の行事について知る。	・一学期頑張ろう会に参加する。 ・一学期の行事を知る。	・会に参加し、一学期の行事について知ろうとしている。
		・児童生徒総会	・児童生徒会会則や年間活動計画などについて話を聞き、児童生徒会活動がどのようなものかを知る。	・児童生徒会会則や年間活動計画などについて話を聞く。 ・児童生徒会活動がどのようなものかを知る。	・児童生徒会会則や年間活動計画などについて話を聞いている。 ・児童生徒会活動がどのようなものかを知ろうとしている。
		・身体測定・検診行事(事前・事後学習)	・教師と協力して、落ち着いて測定、検診を受けることができる。	・身長・体重を測る。 ・目や口腔内、おなかを医者に見せる。 ・その他検診を受ける。	・教師に協力して、落ち着いて身体測定・各種検診を受けている。
		・火災避難訓練(事前・事後学習)	・火災が起きたときの対応について知る。	・実際に周囲の指示に従って避難する練習をしたりして、火災が起きた時の対応の方法を知る。	・火災避難訓練について知ろうとしている。
		・地域の友だちと交流しよう(与儀小学校)	・地域の友だちと一緒に、仲良く活動することができる。	・自己紹介をする。 ・地域の友だちと、仲良く活動する。	・地域の友だちと一緒に、仲良く活動しようとしている。
		・一学期頑張った会	・一学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考える。	・一学期の学習内容を振り返る。 ・目標を達成できたかどうか考える。	・一学期の学習内容について知ろうとしている。 ・目標を達成できたか、考えている。
2 学期	14	・二学期頑張ろう会	・二学期の行事について知る。	・二学期頑張ろう会に参加する。 ・二学期の行事を知る。	・会に参加し、二学期の行事について知ろうとしている。
		・那覇特祭を楽しもう(事前・事後学習)	・那覇特祭について知る。 ・自分の役割を知り、舞台上で発表する。 ・那覇特祭で頑張ったことや楽しかったことを振り返る。	・那覇特祭が、「いつ、どこで」行うかを知る。 ・一人ひとりの発表を決める。 ・舞台上で学習の成果を発揮する。	・那覇特祭について知ろうとしている。 ・自分の役割を知り、関わろうとしている。
		・児童生徒会集会(創立記念日) (事前学習)	・教師や友だちと一緒に、創立記念日をお祝いすることができる。	・創立記念日をお祝いする。 ・昔の映像を見る。	・教師と一緒に、創立記念日をお祝いしようとしている。
		・二学期頑張った会	・二学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考える。	・目標を達成できたかどうか考える。	・目標を達成できたか、考えようとする。
		・冬休みに向けて	・冬休みを元気に楽しく過ごすためにどうすればよいか考える。	・冬休みの過ごし方を考えたり話し合ったりする。	・冬休みを楽しく過ごすための方法を考えている。
3 学期	9	・三学期頑張ろう会	・三学期の行事について知る。	・三学期頑張ろう会に参加する。 ・三学期の行事を知る。	・会に参加し、三学期の行事について知ろうとしている。
		・13祝い	・13祝いについて知る。 ・教師や友達と一緒に祝うことができる。	・13祝いについて知る。	・13祝いについて知ろうとしている。
		・卒業生を送る会	・教師や友だちと一緒に、卒業生を送る会に楽しんで参加することができる。	・卒業生を送る会に参加する。	・教師や友だちと一緒に卒業生を送る会に参加する。
		・三学期頑張った会	・三学期を振り返り、目標を達成できたかどうか考える。	・目標を達成できたかどうか考える。	・目標を達成できたか、考えようとする。
		・もうすぐ中学生	・次年度の学習や行事などを知り、教師と一緒に楽しみなことを選んだり発表したりする。	・次年度の学習や行事などを知る。	・次年度の学習や行事などを知ろうとする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部①グループ II 課程C時間割

		月	火	水	木	金
1	9:00~ 9:45	自立活動	国語	生活	生活	生活
2	9:50~ 10:35	音楽	算数	生活	国語	自立活動
3	10:40~ 11:25	英語	体育	図画工作	生活	特別活動
4	11:30~ 12:15	自立活動	自立活動	図画工作	生活	道徳
5	13:00~ 13:50	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
6	13:55~ 14:45	自立活動	自立活動	音楽	自立活動	